

- ① あきのたの かりほのいおの とまをあらみ わがころもでは つゆにぬれつつ
- ② はるすぎて なつきにけらし しろたえの ころもほすちよう あまのかぐやま
- ③ あしびきの やまどりのおの しだりおの ながながしよを ひとりかもねん
- ④ たごのつらに うさいでてみれば しろたえの ふじのたかねに ゆきはふりつつ
- ⑤ おくやまに もみじふみわけ なくしかの こえきくときぞ あきはかなしき
- ⑥ かささぎの わたせるはしに おくしもの しろきをみれば よぞふけにける
- ⑦ あまのはら ふりさけみれば かすがなる みかさのやまに いでしつきかも
- ⑧ わがいおは みやこのたつみ しかぞすむ よをうじやまと ひとはいうなり
- ⑨ はなのいろは うつりにけりな いたずらに わがみよにふる ながめせしまに
- ⑩ これやこの ゆくもかえるも わかれては するもしらぬも おうさかのせき
- ⑪ わたのはら やそしまかけて こぎいでぬと ひとにはつげよ あまのつりぶね
- ⑫ あまつかぜ くものかよいじ ふきとじよ おとめのすがた しばしとどめん
- ⑬ つくばねの みねよりおつる みなのがわ こいぞつもりて ふちとなりぬる
- ⑭ みちのくの しのぶもじずり たれゆえに みだれそめにし われならなくに
- ⑮ きみがため はるののにいでて わかなつむ わがころもでに ゆきはふりつつ
- ⑯ たちわかれ いなばのやまの みねにおうる まつとしきかば いまかえりこん
- ⑰ ちはやぶる かみよもきかず たつたがわ からくれないに みずくくるとは
- ⑱ すみのえの きしによるなみ よるさえや ゆめのかよいじ ひとめよくらん
- ⑲ なにわがた みじかきあしの ふしのまも あわでこのよを すぐしてよとや
- ⑳ わびぬれば いまはたおなじ なにわなる みをつくしても わんとぞおもう
- ㉑ いまこんと いいしばかりに ながつきの ありあけのつきを まちいでつるかな
- ㉒ ふくからに あきのくさぎの しおるれば むべやまかぜを あらしというらん
- ㉓ つきみれば ちぢにものこそ かなしけれ わがみひとつの きにはあらねど
- ㉔ このたびは ぬさもとりあえず たむけやま もみじのにしき かみのまにまに
- ㉕ なにしおわば おうさかやまの さねかづら ひとにしられて くるよしもがな

- ②6 おぐらやま みねのもみじば ころあはば
 いまひとたびの みゆきまたなん
 ②7 みかのはら わきてながるる いずみかわ
 いつみきとてか こいしかるらん
 ②8 やまざとは ふゆぞさびしさ まさりける
 ひとめくさも かれぬとおもえは
 ②9 こころあてに おらばやおらん はつしもの
 おきまどわせる しらぎくのはな
 ③0 ありあけの つれなくみえし わかれより
 あかつきばかり うきものはなし
 ③1 あさぼらけ ありあけのつきと みるまでに
 よしののさとに ふれるしらゆき
 ③2 やまがわに かぜのかけたる しがらみは
 ながれもあえぬ もみじなりけり
 ③3 ひさかたの ひかりのどけき はるのひに
 しずごころなく はなのちるらん
 ③4 たれをかも しるひとにせん たかさごの
 まつもむかしの ともならなくに
 ③5 ひとはいさ こころもしらず ふるさと
 はなぞむかしの かにおいける
 ③6 なつのよは まだよいながら あけぬるを
 くものいづこに つきやどるらん
 ③7 しらつゆに かぜのふきしく あきのは
 つらぬきとめぬ たまぞちりける
 ③8 わすらるる みをばおもわず ちかいてし
 ひとのいのちの おしくもあるかな
 ③9 あさじうの おのじのはら しのぶれど
 あまりてなどか ひとのこいしき
 ④0 しのぶれど いろにいでにけり わがこいは
 ものやおもうと ひとのとうまで
 ④1 こいすちよう わがなはまだき たちにけり
 ひとしれずこそ おもいそめしか
 ④2 ちぎりきな かたみにそでを しぼりつつ
 すえのまつやま なみこさじとは
 ④3 あいみでの のちのこころに くらぶれば
 むかしはものを おもわざりけり
 ④4 あうことの たえてしなくは なかなかに
 ひとをもみをも うらみざらまし
 ④5 あわれとも いうべきひとは おもおえで
 みのいたずらに なりぬべきかな
 ④6 ゆらのとを わたるふなびと かじをたえ
 ゆくえもしらぬ こいのみちかな
 ④7 やえむぐら しげれるやどの さびしきに
 ひとこそみえね あきはきにけり
 ④8 かぜをいたみ いわうつなみ おのれのみ
 くだけてものを おもうころかな
 ④9 みかきもり えじのたくひの よるほもえ
 ひるはきえつつ ものをこそおもえ
 ⑤0 きみがため おしからざりし いのちさえ
 ながくもがなと おもいけるかな

- 51 かくとだに えやはいぶきの さしもぐさ さしもしらじな もゆるおもいを
 52 あけぬれば くるるものとは しりながら なおうらめしき あさぼらけかな
 53 なげきつつ ひとりねるよの あくるまは いかにひさしき ものとかはしる
 54 わすれじの ゆくすえまでは かたければ きょうをかぎりの いのちもがな
 55 たきのおとは たえてひさしく なりぬれど なこそながれて なおきこえけれ
 56 あらざらん このよのほかの おもいでに いまひとたびの あうこともがな
 57 めぐりあいて みしやそれとも わかぬまに くもがくれにし よわのつきかな
 58 ありまやま いなのさはら かぜふけば いでそよひとを わすれやはする
 59 やすらわで ねなましものを さよふけて かたぶくまでの つきをみしかな
 60 おおえやま いくのみちの とおければ まだふみもみず あまのはしだて
 61 いにしへの ならのみやこの やえぎくら きょうここのえに においぬるかな
 62 よをこめて とりのそらねは はかるとも よにおうさかの せきはゆるさじ
 63 いまはただ おもいたえなん とばかりを ひとつてならで いうよしもがな
 64 あさぼらけ うじのかわぎり たえだえに あらわれわたる せぜのあじろぎ
 65 うらみわび ほさぬそでだに あるものを こいにくちなん なこそおしけれ
 66 もろともに あわれとおもえ やまぎくら はなよりほかに しるひともなし
 67 はるのよの ゆめばかりなる たまくらに かいなくたたん なこそおしけれ
 68 こころにも あらでうきよに ながらえは こいしかるべき よわのつきかな
 69 あらしふく みむろのやまの もみじばは たつたのかわの にしきなりけり
 70 さびしさに やどをたちいで ながむれば いずこもおなじ あきのゆうぐれ
 71 ゆうされば かどたのいなば おとずれて あしのまるやに あきかぜぞふく
 72 おとにきく たかしのはまの あだなみは かけじやそでの ぬれもこそすれ
 73 たかさごの おのえのさくら さぎにけり とやまのかすみ たたずもあらなん
 74 うかりける ひとをばつせの やまおろしよ はげしかれとは いのらぬものを
 75 ちぎりおきし させもがつゆを いのちにて あわれことしの あきもいぬめり

- 76 わたのはら こぎいでてみれば ひさかたの くもいにまごう おきつしらなみ
 77 せをはやみ いわにせかるる たきがわの われてもすえに あわんとぞおもう
 78 あわじしま かようちどりの なくこえに いくよねざめぬ すまのせきもり
 79 あきかぜに たなびくくもの たえまより もれいずるつき かげのさやけさ
 80 ながからん こころもしらず くるかみの みだれてけさは ものをこそおもえ
 81 ほととぎす なきつるかたを ながむれば ただありあけの つきぞのこれる
 82 おもいわび さてもいのちは あるものを うきにたえぬは なみだなりけり
 83 よのなかよ みちこそなけれ おもいいる やまのおくにも しかぞなくなる
 84 ながらえば またこのごろや しのばれん うしとみしよぞ いまはこいしき
 85 よもすがら ものおもつころは あげやらぬ ねやのひまさえ つれなかりけり
 86 なげけとて つきやはものを おもわする かこちがおなる わがなみだかな
 87 むらさめの つゆもまだひぬ まきのはに きりたちのぼる あきのゆうぐれ
 88 なにわえの あしのかりねの ひとよゆえ みをつくしてや こいわたるべき
 89 たまのおよ たえなばたえね ながらえは しのぶることの よわりもぞする
 90 みせばやな おじまのあまの そでだにも ぬれにぞぬれし いろはかわらず
 91 きりぎりす なくやしもよの さむしるに ころもかたしき ひとりかもねん
 92 わがそでは しおひにみえぬ おきのいしの ひとこそしらね かわくまもなし
 93 よのなかは つねにもがもな なぎさこぐ あまのおぶねの つなでかなしも
 94 みよしのの やまのあきかぜ さよふけて ふるさとさむく ころもうつなり
 95 おおけなく うきよのたみに おおうかな わがたつそまに すみぞめのそで
 96 はなさそう あらしのにわの ゆきならで ぶりゆくものは わがみなりけり
 97 こぬひとを まつほのうらの ゆうなぎに やくやもしおの みもこがれつつ
 98 かぜそよぐ ならのおがわの ゆうぐれは みそぎぞなつの するしなりける
 99 ひともおし ひともうらめし あじきなく よをおもうゆえに ものおもうみは
 100 もししきや ふるきのきばの しのぶにも なおあまりある むかしなりけり